

教職員に事務関係の理解を深めるために

～『じむ・ナビ』を利用した試み～

郡山市立小中学校事務研究会特別研究委員会

郡山市立行健小学校 副主査 横田 純子

郡山市立安子島小学校 主 事 浅野美津子

1 はじめに

各種手当の認定権が学校長に委譲されて以来、給与・旅費・福利関係等、学校における事務に関する責任と負担は大きくなってきている。

これに加え、昨年より小中学校に対する県の監査も実施され、その対象となるもののほとんどは、学校事務職員が担当する内容となっており、私達の負担は重くなっているのが実情である。

しかし、学校に一人ないし二人の配置の状況では、日常の事務処理に追われることが多く、また、教員も多忙を極め、お互いのコミュニケーションがままならないといった事務職員も少なくはない状況となっている。

近年、他県ではアウトソーシングが進み、旅費から福利厚生まで業務委託の対象としているところもあり、本県でも過日の新聞報道で、一部業務委託が発表されたところである。

このような状況の中で、教職員に少しでも事務関係について、理解してもらえるように事務関係の「手引書」のようなものがあればいいのではないかとの思いを、多くの事務職員が持っていたのではないだろうか。

郡山市事務研の会員の中には「事務ガイド」や「事務の手引」を作成し、教職員に配布をしているところや、「事務部運営計画」の中に、事務関係の説明を細部にわたり記載したり、または、「事務だより」を利用して、周知を図っている学校も多く見られた。

しかし、これらの実践活動は、あくまでそれぞれの学校で行なわれているものであり、市内の教職員全員に反映されるものではなかった。

これら、個々で行なっている教職員に対する実践活動を、事務研究会の課題として取り組み、郡山市全体のものにできないだろうかという思いが『じむ・ナビ』を作成する動機となった。

2 主題設定の理由

私たちが日常的に感じているものの一つに、教職員は給与等にあまり関心を示していないのではないかという危惧がある。

この要因として、私たち事務職員サイドからの、積極的なアピール不足ということもあるが、また一方では、教職員が『あまり知らなくても』という意識の問題もあるのではないかと考える。

このようなことが、各種事務の適正な執行の妨げとなっているのではないかとの思いから、これらの問題を少しでも解消するための方策として、教職員向けの解説書的なものを作成し、事務関係全般についての理解を得るための一助となり、各種事務がスムーズに行なわれることをめざし研究を進めることとした。

3 研究経過

今回の研究発表にあたっては、新たなものを作成するという方法ではなく、会員が実践しているものをまとめ、ある程度、統一的な内容にすることを目標に作業を進めてきた。作業を進めるにあたり、以下の点に重点をおいた。

- (1) 基本的な内容にする。
- (2) できるだけシンプルな形にする。
- (3) 専門的な表現、用語の使用は極力避ける。
- (4) 郡山市内の学校に該当する項目のみを掲載する。
- (5) 理解してもらえる(読んでもらえる)ための工夫をする。
- (6) 学校の端末機を使用することを前提にし、文字体・装飾等このパソコンで機能しないものは使用しない。

掲載項目を検討するにあたり、各学校ではどのような内容についての質問が多いのか、また、私たち事務職員から見て、教職員はどの程度その内容の理解をしていると思うか等について、いくつかのアンケートを行った。(資料1)

この結果をみると

- ・給与の級号給や口座振込みについて理解してほしい。
- ・各種手当を適正に受給してほしい。
- ・旅行命令(伺)書、復命書の記入を正確にしてほしい。
- ・会計(公費や私費)についての理解をしてほしい。
- ・被扶養者の資格について理解をしてほしい。

などについての数値が高くなっており、監査に関わる内容や、不正・間違いが許されないことについては、教職員も理解をしてほしいとの回答であった。

一方、教職員が理解しているだろうと考えているのは、給与の口座振込みと年休取得関係が50%、手当関係は30%がほぼ理解をしているだろうとの結果となっており、私たちの思いと教職員の考えに大きな差があることがわかった。

これらの結果をもとに、掲載項目を決定し、内容の検討を行った。

<給与編>

- ・寒冷地手当 市内で該当する支給区分のみを掲載する。
- ・通勤手当 各学校の通勤実態から距離は40kmまでを掲載する
扶養親族・被扶養者・税法上の扶養親族など、混同しやすい言葉についてはわかりやすい説明を加える。

<サービス編>

- ・年次有給休暇 各学校で休憩時間が違うため、時間休のとり方などは掲載しない。
- ・特別休暇 すべての休暇を掲載する。
- ・育児休業 詳細は、該当者に説明することとし、基本なことのみを掲載する。

<旅費編>

旅費全般について説明をするのではなく、命令書と復命書の記入例だけを掲載することとし、記入についての周知徹底をはかる。

<会計編>

ある程度の内容を理解してもらうため、原稿を作成したが、最終的には、各学校での執行方法等の違いなどがあるため、混乱を生じるのではないかと理由で、掲載しないこととした。

<福利厚生編>

共済組合発行の『福利厚生のしおり』と重複するが、他項目と関わりがあるため、すべて掲載することとし、しおりを参照するために、該当ページを入れることとする。

以上のような点を踏まえて検討を重ね、平成16年3月に原稿が完成し、各学校に送信をした。新年度の職員会等で配布をしてもらいたいという意図があり、異動の時期ではあったがあえて行なう

こととした。

この後、4月中旬に掲載内容や教職員の反応についてのアンケートを実施した。(資料2)

4 今後の課題

短時間での作業ではありましたが、ある程度、内容豊富な『じむ・ナビ』ができたのではないかと考えている。

しかし、私たち事務職員の立場からの作成であるために、受取る側(教職員)からみた場合、内容的に適切であったかとの思いも残る。

また、当初、意図した作成にあたっての基本的な考えに基づいたものが作成できたのかなどについても、もう一度、視点を変えて見直してみる必要もあるのではないと思われる。

今、事務職員制度についての議論が行なわれている中、将来的には事務職員のいない学校も出てくることが予想される。教職員も今までのように、事務職員に聞けば良いというわけにはいなくなることも考えられる。

このような状況の中で『じむ・ナビ』が教職員の事務関係事項に関心をもってもらうことができ、各種申告や請求が適切に行なわれれば幸いである。

『じむ・ナビ』も生まれたばかりで、これからどのように位置付けて継続していくか、また、よりわかりやすいものとしていくかを考え、身近な冊子としてより魅力的なものにしていきたいと考えている。

【資料1】

給与・服務・福利厚生についてのアンケート

学校名 _____

このアンケートは、私たち事務職員の立場からどう感じているかについての考えを聞くものです。該当する番号に を記入しお答え下さい。

事務職員の立場から知っておい てほしい度合い		教職員が理解している度合い	
ぜひ知っておい てほしい	1	理解している	1
知っておい てほしい	2	ほぼ理解している	2
		関心はあるが理解していない	3
		理解していない	4

《設問内容》

1 給与関係

給与級号給・月額 賞与支給割合 寒冷地手当の支給内容 昇給基準
給与の口座振込の内容 校内控除の内容 法定控除の内容

2 手当関係

扶養手当 1) 支給要件について 2) 手当額
住居手当 1) 支給要件について 2) 手当額
通勤手当 1) 支給要件について 2) 手当額
特殊勤務手当 1) 教員特殊業務手当の内容 2) 支給金額
教育業務指導連絡手当 1) 支給対象業務の内容 2) 支給金額及び支給対象日

3 服務關係

- 年次有給休暇 1) 年間使用可能日数及び繰越日数 2) 取得できる単位・時間区分
- 特別休暇 1) 特別休暇の種類・条件 2) 休暇ごとの取得可能日数
- 育児休業 1) 取得する条件・内容 2) 給付金の内容

4 旅 費

- 旅費制度の概要 旅行命令書・復命書の扱い 旅費支給の内訳

5 会 計

- 公費の支出手続き 学校配当予算 諸会計の適正処理 備品管理

6 福利厚生

- 被扶養者の資格 医療費の負担区分 保養施設の内容と利用方法
- 互助会の各種助成 結婚、出産、死亡等に伴う共済・互助会給付事業
- 休職・欠勤したときに支給される手当 災害・交通事故にあった時の対応及び給付内容

7 資金を必要とするとき

- 共済組合の貸付区分及び手続き 互助会の貸付区分及び手続き

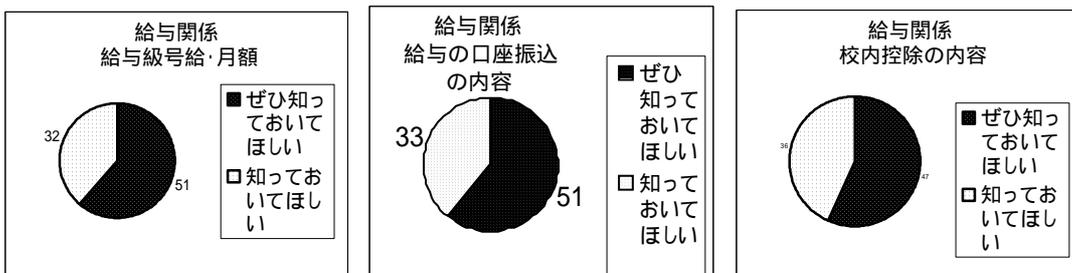
8 その他の項目

上記 1～7 までの項目以外に入れたい項目があれば記入して下さい。

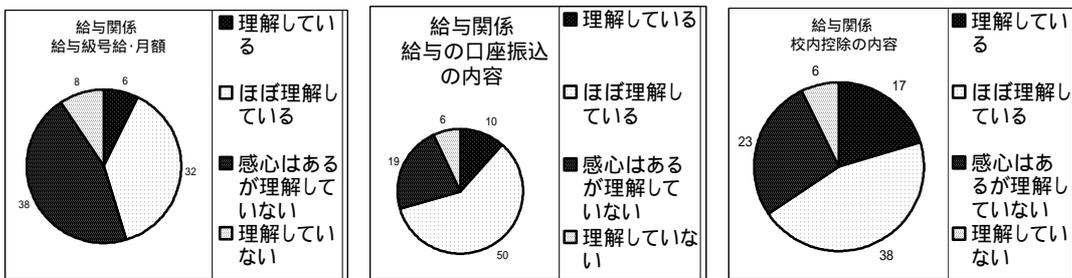
【給与・服務・福利厚生に関するアンケート結果】

回答数 85 / 89 回収率 95%

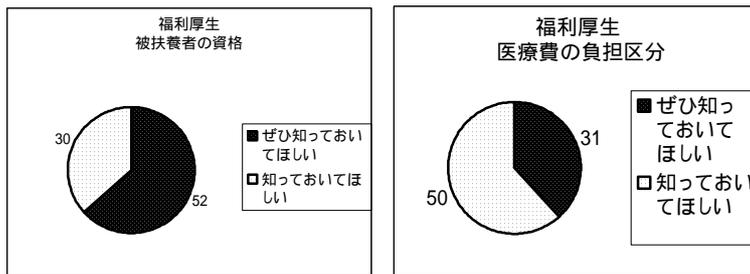
事務職員の立場から知っておいてほしい度合い



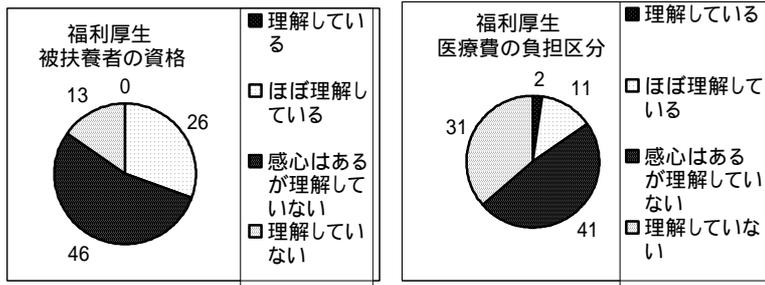
教職員が理解している度合い



事務職員の立場から知っておいてほしい度合い



教職員が理解している度合い



【資料 2】

『じむ・ナビ』に関するアンケート結果

平成16年4月17日実施

回答数 小学校49校 中学校18校 (回答率75%)

- 1 じむ・ナビを配付しましたか。 はい 30 いいえ 37
- 2 「はい」と答えた方にお聞きします。どのような形で配付しましたか。
 - ・研究会の原稿をそのまま印刷して配付した 21
 - ・研究会の原稿をベースにし、学校独自のものをに入れて配付した 10
- 3 「いいえ」と答えた方にお聞きします。今後、配付する予定はありますか。

はい 33 いいえ 3
- 4 「じむ・ナビ」の掲載内容について
 - ・掲載項目は

多い 7 少ない 1 ちょうどよい 58
 - ・先生方にとって掲載内容は

わかりやすい 40 わかりにくい 0 どちらともいえない 27
 - ・掲載内容は情報として

利用価値があると思う 62 利用価値は少ない 3

・掲載内容の構成は

ちょうどよい 59 加えてほしい項目がある 2 必要ない項目がある 1

5 先生方の反応についてお聞きします。

とても感謝された 5 内容に興味を示した 16 利用してみたいとの声があった 2
あまり反応はなかった 9 その他 8

6 「じむ・ナビ」について意見をお聞きします。

あって良かった 36 配付が面倒なのでいない 0 改良を加えればよい 4
簡単に自校化できればよい 26

事務ナビに一部を紹介